

5

2021

三重病院

ニュースレター

news letter vol.261

01 “顎関節症”って？

02 臨床研究部からのお便り—第36回—

03 異動のごあいさつ

三重病院へようこそ！

04 5病棟の生活のひとコマ^㉓通所支援事業のひとコマ
医療安全だより

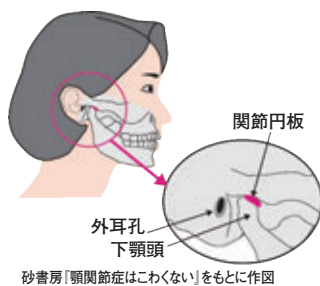
05 地域の医療従事者対象研修

病院からのお願い

06 外来からのお知らせ／外来診察のご案内

“顎関節症”って？

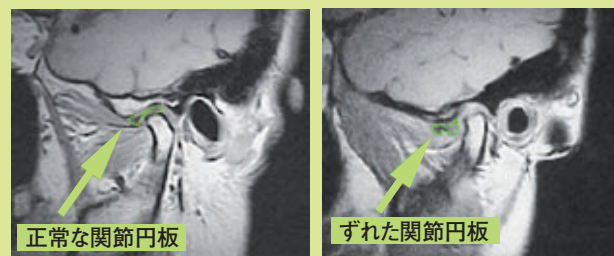
顎関節症はう蝕および歯周病に加え、歯科の第三の疾患として学校歯科健診の審査項目にも追加されています。では顎関節症とはどんな疾患なのでしょう？1998年に日本顎関節症学会では「顎関節や咀嚼筋等の疼痛、関節(雑)音、開口障害ないし顎運動異常を主要症候とし、類似の症候を呈する疾患を除外したもの。」と定義されています。すなわち、食べたり、喋ったり、あくびをするなどお口を開け閉めするときに生じるあごの周囲の音や痛みあるいは口が開かない状態です。こうした症状は女性に多いとされており、男性の約2倍の発症率とも言われ、比較的若い年齢から発症しています。よくテレビで膝の痛みに対するサプリメントの commercials を目にしますが、いわゆる膝関節症は年齢と体重の相関関係を認め、年齢を重ねるとともに増加します。しかし、顎関節症の原因は噛み合わせ、習癖、姿勢、くいしばり、寝相や睡眠の深さ、健康状態あるいはストレスなど多種多様な原因とされています。咀嚼に関する周囲筋肉の症状を含め、一生の間に50%程度の人が一度は経験すると言われており、顎関節症と診断される人は数千万人を超える国民的疾患です。



その他(顎関節症V型)：I～IV型に該当しないもの

(顎関節症の症型分類：日本顎関節学会2001年改訂版)
上記の5項目に分類されています。

治療法はレーザー治療などの理学療法、鎮痛剤や筋弛緩薬、漢方などの薬物療法、認知行動療法に加え、スプリント療法などがあります。また、専門的医療機関での診断・治療が必要とされる場合はMRI等による画像診断が非常に有用となります。とりわけ前述した分類の中で、関節円板障害のIII型や変形性関節症のIV型場合は関節滑液(Joint effusion：俗に言う“水が溜まっている”)の診断には必要不可欠なのです。この場合の治療法は洗浄療法を行います。



スプリント療法



関節滑液



関節腔洗浄の様子

顎関節症の症型分類は

顎関節症I型：咀嚼筋障害(咀嚼筋障害を徴候としたもの)

顎関節症II型：関節包・靭帯障害(円板後部組織・関節包・靭帯の慢性外傷性病変を主徴候としたもの)

顎関節症III型：関節円板障害(関節円板の異常を主徴候としたもの)

a：復位をとともう関節円板転位

b：復位をとともわれない関節円板転位

顎関節症IV型：変形性関節症(退行性病変を主徴候としたもの)

顎関節症専門医関連研修施設は三重県内では2施設であり、そのうちの1施設が三重病院 歯科口腔外科です。このような症状でお悩みの方は、一度ご相談ください。
(歯科口腔外科 松村 佳彦)